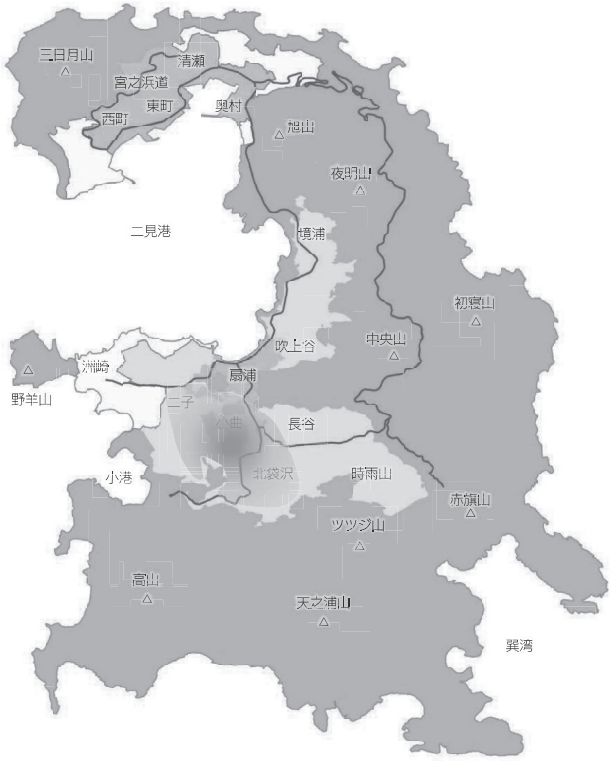
住宅不足の解消に向けた、今後の土地利用計画について

小笠原諸島では住宅不足の解消が喫緊の課題となっており、その最大の要因である住宅用地の不足に対応するため、今後、土地利用計画に基づく総合的な視点で新たな住宅政策に関する方針を策定する必要がある。

小曲及び北袋沢の一部の地域では、農業地域に宅地が広がる傾向があるため、今後の土地利用の動向を見極めつつ、新たな住宅政策に沿って、集落と農業の地域区分の見直しを検討するなど、必要な取組を進めていく。



集落と農業の地域区分の見直しを検討していくエリア